

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2023年12月号（第176号）

発行責任者 松尾 基昭



於 リニア見学センター

撮影者 西郡 貢氏

17期 ところざわ倶楽部活動方針

会長 松尾 基昭

～持続可能な仕組みづくりに向けて～

このところの倶楽部活動は元気に順調に活動出来ているサークルがみられる一方、長期的観点からは、サークル数や会員の減少から、全体としての活動は縮小傾向にあります。

これからの会員の高齢化や担い手不足等を勘案すれば、さらに、この先の活動に懸念が生じて来ています。こうした中、これまでの先輩諸氏の方々が、築いてこられた16年にわたる倶楽部の歴史と伝統を、いかに次の世代にバトンタッチ出来るかが、今後の大きなテーマと考えています。

会員の皆様と一緒に、持続可能な仕組みづくりについて考えていきたいと思えます。

総会の席であった質疑応答も、皆さんの叱咤激励と理解し、同じ倶楽部への熱い気持ちであることを共有出来たと思えました。この気持ちを、是非これからの活動の推進力につなげていきます。

また、その運営にあたっては、楽しく学ぶ、親睦・交流、地域貢献を旨とする認識にたち、役員・理事は組織・活動のサポート役としての機能を果たせるよう努力いたします。

最後に活動の推進はあくまで会員一人一人の力を結集したものが基本となりますので、会員皆様のお力添えを切にお願い申し上げます。

17 期定期総会報告

総務部長 中原 幹男

11月22日（水）ミューズ2F展示室ザ・スクエアにて定期総会が開催され、出席者93名のもと議事が進められました。冒頭では、29期修了生5名、30期受講生1名の新入会者が紹介され、拍手で迎えられました。

第16期総括

中原会長より16期総括を報告しました。2023年は、コロナへの世間の対応が変化する中で『明るく、楽しく、元気を！PART2』のキャッチフレーズを掲げ、多くの参加者と一緒になって実施した事業は、いずれも大変盛り上がりました。求心力ともいえるそれらの事業の成功に対し、理事・役員のなり手不足などの遠心力がサークル数や会員の減少を招いている実態があり、対策を継続して行う必要があるため『共助の精神』をもって運営に参加していただきたいと要請いたしました。

引き続き、大西総務部長、松尾事業部長、玉上広報部長より各部活動を報告しました。

16期退任理事へ感謝の拍手が送られ、17期の理事・会計監査候補が満場の拍手で承認されました。

第17期活動方針

松尾新会長から17期の活動方針として、『持続可能な仕組みづくりに向けて』のテーマと4つの活動目標が示されました。

1. 活動内容の維持・充実
2. 活動担い手の発掘・育成
3. 市民大学との関係強化
4. 活動の対外PRへの取り組み

続いて、野口新事業部長から事業活動計画案を、小田島新広報部長から広報部活動計画案、中原新総務部長から第17期予算案を提示しました。さんさん会との関係、修了生勧誘、次期繰越金、事業の対外PR、無所属会員への連絡などの活発な質疑応答が交わされたのち、すべての議案が満場の拍手をもって承認されました。

総会終了後の懇親会では、22期修了生渡辺昌一郎（水々亭めだか）さんの軽妙な語り口の落語『六尺棒』をきいたのち、松尾新会長の音頭で軽食をとりながらサークルを超えた親睦をはかりました。

第17期 新体制

皆さまのご支援をよろしくお願いします。

*未定の役職は、第1回の理事会にて決定します。

役職	氏名	推薦母体	役職	氏名	推薦母体
会長	松尾 基昭	アジア研究会	理事	高橋 信行	ドラカン
副会長事業部長	野口 喜美夫	理事会推薦	理事	内川 賢治	懐かしの映画
副会長広報部長	小田島 禮子	理事会推薦	理事	安田 好子	脳活サークル
副会長総務部長	中原 幹男	理事会推薦	理事	石堂 智士	傍聴席
広報部副部長	原田 一成	理事会推薦	理事	根岸 順子	民話の会
総務部会計	大西 優	地域デビュー支援	理事	横山 芳江	理事会推薦
総務部会計	木下 みえこ	食トコ	理事	大木 美和子	理事会推薦
理事	鹿嶋 伸郎	楽悠クラブ	理事	川上 紀春	理事会推薦
理事	芝間 伸剛	地球環境	理事	田淵 喜代子	理事会推薦
理事	鈴木 安弘	所沢の自然と農業	会計監査	岡崎 久子	理事会推薦
理事	茂出木 正和	野老澤の歴史	会計監査	田口 元也	理事会推薦

退任理事：玉上佳彦、仲山富夫、梅津博紀、浪間扶美子、岡部まさ子、岩瀬真弓、佐野喜代子

<お疲れ様でした>

事業部活動方針

事業部長 野口 喜美夫

前期の参加型企画、文芸講座、時局講演会、そして総仕上げとしての「ところざわ倶楽部まつり」は、いずれも盛況に終ることが出来、全体の盛り上がり大きく貢献しました。

これからの17期は松尾会長が標榜している「持続可能な仕組みづくりに向けて」を念頭に、事業部としての活動を進めていきたいと思ひます。

「音楽又は芸能関係の企画」では参加型、聴講型、鑑賞型などの様々なあり方を皆さんと検討して、参加者が大いに楽しめるイベントにしたいと思ひます。「文芸講座」は毎年好評を博していますが、今年はどの分野にするか、古典に拘らずに検討します。「時局講演会」はタイムリーなテーマとしたいのですが、時機を得た人での講演がキーでしょう。いずれも皆様の期待に応えられる、充実した内容の濃いものにしたいと思ひます。「ところざわ倶楽部まつり」は私達ところざわ倶楽部の各サークルの一年間の集大成です。活動の成果や実施した内容をシッカリPRする場にしたいと考えています。

各企画のテーマや進め方、やり方、人選などについて広く皆さんの意見を募り、一体感を持って進めたいと考えます。宜しくお願いします。

広報部活動方針

広報部長 小田島 禮子

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

① 学習活動の継続 ② 会員相互の親睦
③ 学びを地域に活かす ④ ネットワーク作りを念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信を継続していきます。

2. 広報紙「広場」

ところざわ倶楽部のさらなる発展は広報紙の企画に寄与するところが大きいと考えます。これから新しいアイデアの発想を目論み中です。会員の皆様の提案、投稿のご協力を是非お待ちしております。

3. 新たな活動形態として

新しいネット世界に対応した活動として、HPとYoutubeなどのITスキルをフルに活用してゆきます。今期より、玉上前部長の専任をお願いし、充実した楽しいコンテンツをご披露できるよう心がけます。

4. サークル活動として前期からITサロンが発足しました。便利なPCの活用と楽しみのため、是非ご活用ください。

【第17期 編集委員】

氏 名	担 当
松尾 基昭	会長／発行責任者
小田島 禮子	広 報 部 長
原田 一成	広 報 部 副 部 長
玉上 佳彦	広報部顧問・HP 担当
川上 紀春	広 報 部 理 事
梅津 博紀	企 画 編 集
大木 美和子	企 画 編 集
稲村 洋二	企 画 編 集
岩瀬 真弓	企 画 編 集
浪間 扶美子	企 画 編 集
新井 智子	企 画 編 集
文平 あつ子	企 画 編 集
中原 幹男	総 務 部 長
野口 喜美夫	事 業 部 長

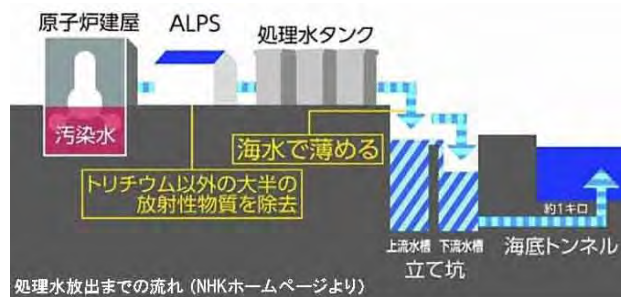
福島原発・処理汚染水の海洋放出

～何が問題なのか～

地球環境に学ぶサークル 河登一郎

ALPS（多核種除去装置）処理汚染水

・溶け落ちた核燃料（デブリ）を冷却し続けている水に加え地下水や雨水が原子炉建屋内に流れ込み続け発生している高濃度の放射性物質を含んだ汚染水を、ALPS で処理しタンクに貯蔵しています。ALPS で除去できないトリチウムのほか除去されるという 62 種の放射性物質（半減期約 1600 万年のヨウ素 129、約 300 万年のセシウム 135 など）を含みます。



政府は汚染処理水の海洋放出を 8 月 24 日から始めました。放出には 30 年以上かかります。

・反対は強く、福島県漁連/全漁連は断固反対。政府/東電の「関係者理解なしには処分しない」という文言での約束は反故に！・・・こんなことが許されて良いのでしょうか。

福島だけの問題ではなく、汚染水は沿岸流に乗って、東海・近畿・四国・九州・北海道にも及ぶ、全日本の課題です。

放出される放射性物質の総量が不明：

・貯蔵されている汚染水に含まれるトリチウムの総量は、推定 780 兆 Bq もあります。

・含まれているのはトリチウム以外にも、ALPS が除去対象とした 62 の核種が基準未達です。

・基準超え；ヨウ素 129・ストロンチウム 90・カドミウム 113・セシウム 137・プルトニウム 238～241 など。

・東電は、海洋放出する場合には二次処理を行い、トリチウム以外の放射性物質の濃度を基準以下にしていると言っていますが、タンクに残留する放射性物質の総量が不明。更にトリチウム以外の核種は ALPS で除去し、基準以下になっていると説明してきましたが、マスコミがそのウソを明らかにしました。

・「何をどれくらい」放出するののかの基本的な情報が明らかになっていないのです。

IAEA の報告書は汚染水海洋放出の「科学的根拠」になりません：

・事故炉からの放出であることの重大性の認識が不足しており、IAEA 安全基準のうち、①正当性、②関係者との意見交換に適合しません。

・放射性廃棄物の海洋投棄は、ロンドン条約議定書でも全面的に禁止されています。

トリチウムのリスク：

・トリチウムは水素の同位体「三重水素」。半減期 12 年の放射性物質。トリチウムは水の形で存在するため、取り除くのが困難で、原発・核施設から大

量に放出されます。

増え続ける汚染水をどう止める？：

・さまざまな代替案があります。

・建屋内への地下水の流入を止めない限り、汚染水は発生し続けます。

○福島大研究グループは、凍土壁の外側に「広域遮水壁」を作り、地下水流入を止めるべきと主張し、

○原子力市民委員会は以下二つの提案をしました。

1) 「大型タンク貯留案」：ドーム型屋根の水封ベント付 10 万 m³ の大型タンクを建設する構想です。

2) 「モルタル固化処分案」：汚染水をセメントと砂でモルタル化し半地下の状態で保管します。

・いずれも現実的な内容で、実績もありますが検討されていません。

放射性物質は集中管理が原則で、拡散すべきではありません：

・上記原子力市民委員会の提案を検討すべきです。

・いずれにしても、全ての情報公開と、公開の議論が不可欠です。

コストが高くかかります：

・2023 年度だけでも、工事費 430 億円+207 億円；風評対策費 300 億円；漁業支援基金 500 億円；計 1407 億円も。放出には 30 年強かかりますが、全費用がどのくらいになるか予測できません。



「世界の平和を考える」シリーズ 第21回

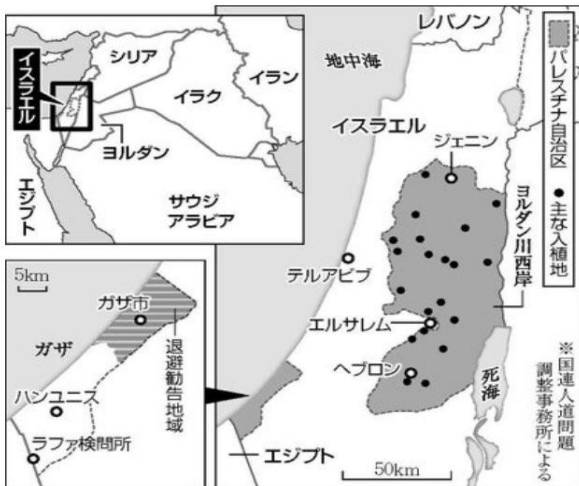
イスラエル・パレスチナ問題を考える

玉上 佳彦

連日のマスコミ報道を見ていると、安穏な日々を送っている日本人には何もできないもどかしさを感じて、悶々としてしまうのは、私だけではないでしょう。遠いアラブの地で1万5千人以上の人々が亡くなっているのは見るに耐えないことであり、平和な世界を希求することのできない絶望的な闇の中にいるではないでしょうか。

●宗教に絡む軋轢

エルサレムには、ユダヤ教の聖地「嘆きの壁」、キリスト教の聖地「聖墳墓（せいふんぼ）教会」、イスラム教の聖地「岩のドーム」がある。3つの宗教の聖地は、城壁に囲まれた0.9平方キロメートルの旧市街区の中に共存しているというのは極めて異常な地域であり、旧市街区と城壁群は1981年に世界文化遺産に登録され、世界中の人々が聖地巡礼に訪れている。これらの宗教にあまり縁のない私達からは理解できないことであり、歴史的な背景には2,000年前に遡る宗教的な軋轢があるとされている。



【出展：読売新聞 2023年10月28日】

●領土問題

この紛争は、イスラエルとパレスチナ人との国家建設と領土問題に関連しているようで、同じ地域に暮らしており、古代からのいろいろな宗教の軋轢が存在していた。

紛争はユダヤ人入植者の増加とパレスチナ地域のアラブ人を排除するシオニスト運動の登場とともに始まり、第一次大戦後、イギリス統治下のパレスチナで、ユダヤ人入植地の建設が始められた。

第二次大戦後、国連はパレスチナの分割を提案し、イスラエル国家の建設が実現し、パレスチナ人多くは自分たちの土地を失い、困難な状況に直面したのである。

以来、イスラエルとパレスチナ間の領土争い、人権侵害、テロ攻撃などの紛争が続いており、相互不信や敵意が根強く続いていたのであろう。



【パレスチナ国旗】

●大規模攻撃の悲惨

今回の衝突は、イスラエルのフェスティバルの最中にハマスが攻撃し、多くの人質を獲ったのが、きっかけで、過去のイスラエルへの不満の爆発が表面化したのだが、これに対し、イスラエルが圧倒的な軍事力でガザを攻撃し、多くの市民を殺戮するという残忍な事態に到った。報道によると死者は15,000人以上、うち子供は5,500人以上という。

現実にはマスコミで報道されているとおり、イスラエル軍はハマスを全滅するまで、一斉攻撃をかけてガザを攻撃し、多くの民間人（特に子供）を殺戮している非人道的行為は、国際法上の違反でしかないのだが、誰も止めることのできないたたまれないことである。

●平和の道はないのか

客観的にみて、現状では、人質の解放を目指す一時的な休戦は可能かも知れないが、継続的な休戦は難しいだろう。即時停戦を求めるべきだが、アメリカがイスラエルを支援している限り、主要国や国際機関の積極的な関与が、和平プロセスの推進に寄与できないであろう。

国際社会の一致や協力が必要だが、残念ながら、ウクライナ戦争にみられるようなロシア・中国・イランなどとアメリカとその同土国との世界の分断化が進みつつある中では、国際協調は不可能だろう。

日本はイスラエルやアラブ諸国とは比較的友好的な関係を維持してきているので、積極的な仲介は可能はずだが、何らの手を打てない現状は情けない限りである。残念ながら、日本政府はアメリカに追従せざるを得なくなっているため、期待することは無理であろう。

草の根レベルでガザで頑張っている日本人医師や看護師のボランティアに敬意を表せざるを得ない。

サークル活動報告

IT スキル向上をめざして

IT サロン 玉上 佳彦



IT サロンは、2020 年からスタートしたパソコン相談会を発展させ、本年 4 月に正式なサークルとして新所沢公民館に団体登録をしました。サークルの活動の目的は、学習会を開き、会員の IT スキル向上をめざすことです。

主な活動は、5 名の相談員がパソコンでの各種トラブルを抱えている会員と市民大学受講生の発表会のためのお手伝いをしながら、相互の解決法を探求しています。

発足当初は、現在話題になっている ChatGPT に関する学習会などを行ってきました。

最近では、古いパソコンを買い替えた方々の初期設定などのお手伝いしつつ、私達相談員のスキルアップにもなっています。

予約なしの自由参加です。多い時は 10 名以上、少ない時には 2~3 名の参加があります。今後は活動方法を検討していきたいと考えていますが、いつでも対応させていただきますので、まずは活動日にご自分のパソコンを持参してご参加下さい。

尚、ご要望の多いスマホ相談会は、外部の専門家の都合で不定期に開催する予定です。

100 歳時代をどう生きる？

所沢シニア世代地域デビュー支援の会

田口 元也

最近、「100 歳時代をどう生きる？」というフレーズをよく耳にする。はじめはかなりセンセーショナルにとらえていたが、100 歳以上の高齢者数は現在約 9 万 2000 人という発表を聞くと、そうあり得ない話ではない。だからといって、100 歳の寿命を確約されたのではないし、また 100 歳は決してゴールではない。その先のことも考えておかなくてはいけない。

そこで本サークルでは、9 月からテーマを「私たちの 2025 年問題」から「100 歳時代をどう生きる？」に切り替え、最近の気になる新聞記事の政治・経済・国際問題や世相を反映する社会問題・文化・くらしなどをく拾い読み、それを資料に緩やかな話し合いをスタートさせた。

その名称は「サロン・ひよこ塾」である。100 歳時代を生きる力として、体力だけでなく「生きる知恵」を身に付けておかなくてはならない。

会員にとって顔ぶれは同じなので、いつもと変わらない集まりくらいにしか思っていないと思うが、みんな元気であれば、それでいいのだ！は会員の一致したポリシーである。

とくに後期高齢者のみなさん、

政府は「異次元の少子化対策」に取り組もうとしていますが、そのベースに欠けてはならないのは「元気な高齢者」です。「人生 100 年時代」といっても決してゴールではありません。その先を今から考えるか、考えないかで、おのずとゴールは決まってくる。

「人生 100 年時代」をご一緒に考えてみませんか。

サロン「ひよこ塾」開設！

●これまでこんなことを話し合ってきました●

- 介護問題：介護保険 7 項目の廃止と引き上げについて
- 政治・外交問題：ロシアのウクライナ侵襲
- 健康問題：新型コロナウイルス 2 類から 1 類へ
- 人権問題：LGBT とは
- 環境問題：日本の海で起きている異常
- 少子・高齢化問題：出生数初年度 80 万人割れ
- 生活：Z 世代のスポーツ離れ など

※毎月第 2 水曜日が定例会です。

心とからだのリフレッシュ

「SP・チアダンス」も一緒に！

・ダンシングヒーロー 会津豊橋山・輪になっておどろう
・秋田音頭・カウボーイ・YMCA・美女と野獣 など
※毎月第 2・第 4 土曜日が練習日です。

あなたのシニアデビューをお手伝いする

所沢シニア世代地域デビューを支援する会 です。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

12月13日(水)13:00～16:00 中央公民館8・9号室
当麻会員による「パレスチナを訪ねて想う」
ーイスラエル・パレスチナ問題を討議しましょうー
1月17日(水)予定 13:30～16:00 中央公民館8・9号室
玉上会員による「最新中国状況」報告

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

12月12日(火)13:15～16:45 中央公民館3階8・9号学習室
(1)「楽悠クラブ総会」
(2)映画鑑賞「12月戦場のメリークリスマス」
1月16日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
「ジャズ、フォーク、ミュージカル、映画音楽などを楽しむ」
1月16日(火)18:00～20:00 新年会

3. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさ子 080-5872-1868)

12月5日(火)9:00～ ふらっと生活工房
ウクライナ料理「ピーツのボルシチ」づくり
12月19日(火) 忘年会

4. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

12月13日(水)15:00～17:00 新所沢東公民館、読書会
泉房穂著「社会の変え方」第3回
12月19日(火)15:00～17:00 新所沢東公民館、月例会
環境討論、持寄り報告、他

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

12月13日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号
サロン「ひよこ塾」(定例会) テーマ「100歳時代をどう生きる」
ー「不安」「時間」「家族」「ふるさと」なども話題にー
＜SP スマイルパイレーツ練習日＞どなたでも見学大歓迎！
12月9日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室
12月23日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

12月7日(木)13:00～15:00 新所沢公民館学習室1号定例会。
12月7日(木)17:00～ 忘年会
12月19日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
12月20日(水)9:30～11:30 トトロ21号地整備作業
12月22日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
1月6日(土)9:00～12:00 陽子ファーム落ち葉掃き

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

12月5日(火)13:30～15:30 中央公民館学習室8・9号
講演会：テーマ「所沢市無形民俗文化財 重松流祭囃子」
講 師：重松流祭囃子保存会会長 小峯勝次
12月14日(木)13:30～16:30 中央公民館学習室8・9号
定期総会：今期の総括 来期活動計画 決算・予算
懇親会：17:00～19:00 「中国料理 離宮」

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

12月16日(土)10:00～12:00 中央公民館3号
「恋の骨折り損」朗読続き 終了後「大穀」にて懇親会
1月13日(土)、1月20日(土)
いずれも上記に同じ

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

12月12日(火)10:00～12:30 西新井町会館
邦画「任侠東海道」(58年)東映オールスター総出演
⇒年末最後の上映会・来年の上映計画・イベントの紹介
1月23日(火) 新春上映会/イベント：繭玉飾り

10. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

12月11日(第2月曜日)12:00～「藍屋」で昼食会
1年を振り返っての感想や意見交換をして懇親を深める！
1月22日(月)13:30～ 中央公民館・学習室4号
「百人一首」体験とその他・ゲームで楽しく脳活！

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

12月18日(月) 新所沢東公民館 研修室1号
テーマ：「今期活動実績の反省と来期計画の自由討論」
会員の皆様のご協力で今期活動は充実したものとなりました。
今期の反省と来期への期待を聞きたいと思います。
1月18日(月) テーマは12月定例会で決定

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

12月22日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
多目的室2号 定例会
新しい期のスタートに当たり、目標を掲げて活動します！
全員が「語り、台詞」をマスターし、レベルアップを図る
「河童のお伊勢参り」、「100万回生きたねこ」の読み合わせ
1月26日(金)子供と福祉の未来館 定例会

13. ITサロン (ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)

12月18日(月) 13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号
1月10日(水) 13:00～16:00 新所沢公民館 学習室6号
1月31日(水) 13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号

理事会報告 (総務部 中原幹男 080-4151-1045)

- ・11/13 16期最終理事会開催 新旧理事出席 退任7、新任6
16期総括、17期方針を提案 新規入会状況29期15名
- ・11/22 17期定期総会をミューズにて開催 出席93名
2部懇親会出席85名 落語 水々亭めだかさん (22期)
欠席者へ資料12/8発送済
- ・次回 12/11 10:00～ 新所沢東公民館 講堂

**みんなの広場
第 53 回**
**スマイルパイレーツ
中原 幹男**
～メディアに久しぶり登場 2 回目！～

2023 年 11 月 4 日(土)
所沢サクラタウン観光物産
館 YOT-TOKO の収穫祭によば
れ出演しました。

11 月なのに陽射しが
強く観客席は暑かった
と思いますが、買い物
に来たお客さんも一緒
に手拍子して楽しんでいただきました。(7 曲 30 分)

出店していた「森のとうふ屋さん」のダンス好き田中くんも
飛び入り参加し、サクラタウンデビューの良い記念となりました。
入間ケーブルテレビが取材に来ており、演技撮影とインタビ
ューを受け、後日入間市での放映があった模様です。

～フレイル予防講座オープニング出演～


2023 年 11 月 16 日(木) 松井まちづくりセンター主催の「知ら
ななきゃ損する！フレイル予防講座」のオープニングに出演しまし
た。(3 曲 10 分)

シルバー人材センターのフレイル予防講座には 2 度目の出演で
す。みなさん少し慣れたのか手拍子も多かったようです。

9 月の倶楽部まつり以降、女性 2 名の入会者がありました。
男性も募集していますので、所沢シニア世代地域デビュー支援の
会 田口氏 090-9820-5668 までご連絡ください。

編集後記

私は 2013 年に市民大学(20 期)を修了し、2015 年に理事として広報部にて、HP 担当として所属し、2016 年
副部長、2017 年広報部長を経て、本年 11 月に退任するまで約 9 年間にわたり広報部に所属しました。

これまでの 9 年間で振り返ってみるとあっという間に過ぎてしまったように思います。

ところざわ倶楽部というボランティア組織において、会員の皆様に的確な情報を提供するために、広報部・
編集委員の皆さんと協力して、広場と HP で努力してきましたが、よく考えてみると、無償でこれだけのことを
ボランティア的に成し遂げているというのは素晴らしいことだと思います。市民大学修了者の会員が高齢でも
ありながら、学びを続け、社会との関わりを持ち続けたい意欲の表れだと思います。

この 9 年間に日本だけでなく、世界中で異変とも言える大きな事件・災害・戦争といった事態が発生し、私
達としても、何もできないもどかしさを感じてきました。ところざわ倶楽部が、これらの問題に関与すること
は難しいですが、私達としては少しでも個人の意見・主張を表明できる場として、「世界の平和を考える」シリ
ーズの投稿と地球環境サークルによる「環境問題」を継続的に掲載してきました。これからも会員の皆様の忌
憚のないご意見の投稿を期待します。

アジア研究会 玉上 佳彦：記

**川柳「九〇」
課題「自由」**
作品発表 選 中島 峯生
「自由題」

自由業自由にならず借金で
外出が自由にできる今が旬
人の為自由に生きるこの余生
忘年会縛りを取ったドッグラン
自由自由そう言う人は無信用
自由って求め続ける青い鳥

縄文人
りんご好き
詔 笛
峯 声
海さとり
突拍子

欲ほしい物本当にないこれ年か
ウインドウ写る自分に目を背け
皆笑顔舞台発表文化祭
待たせられ靴の色知る交差点
買い置きのはがきを見たら五十円
お手伝いチン上げしてと子に言われ

縄文人
突拍子
峯 声
詔 笛
りんご好き
海さとり

次回(第 91 回) 課題「バス」そして「自由題」

締切り日：12 月 20 日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp

Fax 04-2928-1161